

## 第3章 出前講座に参加した生徒を対象としたアンケート調査の結果

### 1. アンケート調査概要

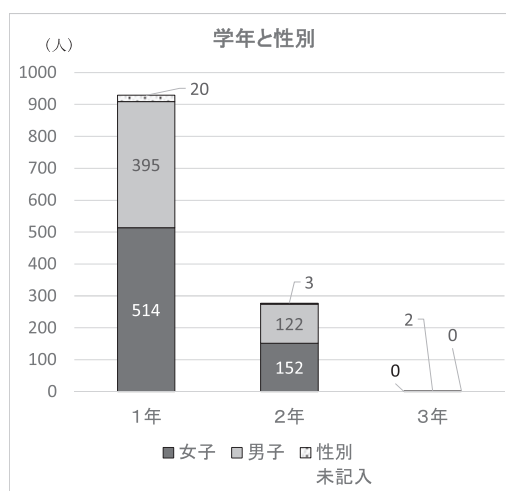
第2章で紹介した各講座の実施日に、実施校教員の協力により、生徒に紙の調査票<sup>1</sup>を配布し、回収いただいた。実施校ごとのアンケート結果は第2章で紹介したが、ここでは、4校の生徒をまとめて、プログラムの満足度等について検証する。

回答者は4校合計で1,208名、学年別では、1年生929名、2年生277名、3年生2名、性別では、女子666名、男子519名、性別未記入23名、進路別では、進学（文系）503名、進学（理系）423名、進学（学部未定）258名、就職その他12名、進路未記入等12名であった。

#### ◆回答者の属性◆

##### ■ 学年、性別（人）

	1年	2年	3年	計
女子	514	152	0	666
	42.5%	12.6%	0.0%	55.1%
男子	395	122	2	519
	32.7%	10.1%	0.2%	43.0%
性別未記入	20	3	0	23
	1.7%	0.2%	0.0%	1.9%
計	929	277	2	1,208
	76.9%	22.9%	0.2%	100.0%



<sup>1</sup> 生徒を対象としたアンケート調査票については、資料IV参照（p. 71）

## 2. アンケート調査結果

### (1) 回答結果（単純集計）

#### 【設問2】

	講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？								
	いいえ←					→はい	未記入	計	平均点
	1	2	3	4	5				
女子	14 2.1%	44 6.6%	162 24.3%	271 40.7%	175 26.3%	0 0.0%	666 100.0%	3.8	
男子	19 3.7%	26 5.0%	137 26.4%	223 43.0%	111 21.4%	3 0.6%	519 100.0%	3.7	
性別未記入	0 0.0%	3 13.0%	7 30.4%	5 21.7%	6 26.1%	2 8.7%	23 100.0%	3.7	
計	33 2.7%	73 6.0%	306 25.3%	499 41.3%	292 24.2%	5 0.4%	1,208 100.0%	3.8	

- 最も多かった回答は「4」で、4割（41.3%）が選択した。これに「5」を合わせると、7割近く（65.5%）にのぼり、進路選択の役に立つ内容であったと感じた者が多数であることが分かる。
- 女子男子間で顕著な違いは認められない。
- 全体での平均点は、3.8であった。

#### 【設問3-1】

	講演の前と後で、理工系分野に対する考えは変わりましたか？			
	1	2	未記入	計
	変わった	変わらない		
女子	311 46.7%	350 52.6%	5 0.8%	666 100.0%
男子	238 45.9%	278 53.6%	3 0.6%	519 100.0%
性別未記入	11 47.8%	10 43.5%	2 8.7%	23 100.0%
計	560 46.4%	638 52.8%	10 0.8%	1,208 100.0%

- 一日だけの講座であるが、半数近く（46.4%）が「変わった」と回答している。
- 女子男子間で顕著な違いは認められない。

【設問 3 - 2】

	「変わった」と答えた人は、何が変わったのか次から選んでください。（複数回答可）					
	1	2	3	4	未記入	母数※
	理工系分野 に進学・就 職したいと 思った	理工系分野 に興味を持 った	理工系分野 の印象が良 くなった	その他		
女子	25 8.0%	96 30.9%	201 64.6%	12 3.9%	4 1.3%	311 100.0%
男子	49 20.6%	99 41.6%	111 46.6%	16 6.7%	1 0.4%	238 100.0%
性別 未記入	2 18.2%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
計	76 13.6%	198 35.4%	318 56.8%	28 5.0%	5 0.9%	560 100.0%

※母数は、設問 3 で「変わった」と答えた人数。複数回答のため、各回答の合計とは一致しない。

- 「変わった」と回答した者のうち、「理工系分野の印象が良くなった」を選択した生徒が半数を超え（56.8%）、「理工系分野に興味を持った」生徒は 35.4%、「理工系分野に進学・就職したいと思った」生徒は 13.6%であった。
- 女子男子間で回答傾向のバラツキが認められる。

【設問 4】

	あなたの希望する進路を教えてください。					
	1	2	3	4	未記入 等	計
	進学 (文系)	進学 (理系)	進学(学部 未定)	就職その他		
女子	322 48.3%	170 25.5%	161 24.2%	10 1.5%	3 0.5%	666 100.0%
男子	168 32.4%	248 47.8%	94 18.1%	2 0.4%	7 1.3%	519 100.0%
性別 未記入	13 56.5%	5 21.7%	3 13.0%	0 0.0%	2 8.7%	23 100.0%
計	503 41.6%	423 35.0%	258 21.4%	12 1.0%	12 1.0%	1,208 100.0%

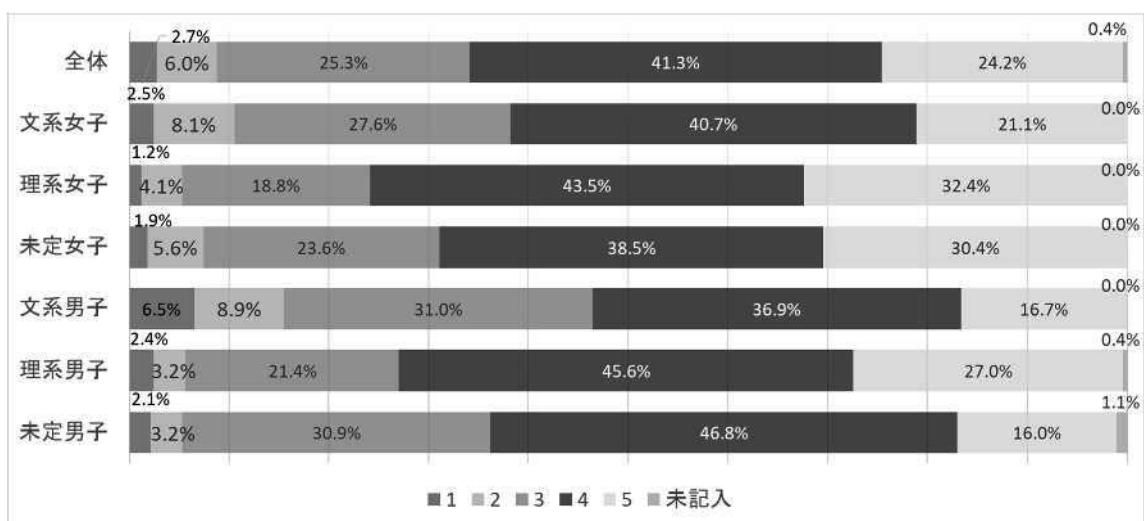
- 進学（文系）が最も多く（41.6%）、進学（理系）（35.0%）、進学（学部未定）（21.4%）が続いた。男女別では、女子は約半数（48.3%）が進学（文系）、男子は約半数（47.8%）が進学（理系）を選択した。

(2) 回答結果分析 (クロス分析)

ア 講演と希望進路の関係

【設問2×設問4】

		講演の内容は進路選択に役立つ内容でしたか？								
		いいえ←				→はい		未記入	計	平均点
		1	2	3	4	5				
あなたの希望する進路を教えてください。	進学 (文系)	女子	8 2.5%	26 8.1%	89 27.6%	131 40.7%	68 21.1%	0 0.0%	322 100.0%	3.7
		男子	11 6.5%	15 8.9%	52 31.0%	62 36.9%	28 16.7%	0 0.0%	168 100.0%	3.5
		性別未記入	0 0.0%	1 7.7%	6 46.2%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%	3.5
		計	19 3.8%	42 8.3%	147 29.2%	197 39.2%	98 19.5%	0 0.0%	503 100.0%	3.6
	進学 (理系)	女子	2 1.2%	7 4.1%	32 18.8%	74 43.5%	55 32.4%	0 0.0%	170 100.0%	4.0
		男子	6 2.4%	8 3.2%	53 21.4%	113 45.6%	67 27.0%	1 0.4%	248 100.0%	3.9
		性別未記入	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%	3.8
		計	8 1.9%	16 3.8%	86 20.3%	188 44.4%	124 29.3%	1 0.2%	423 100.0%	4.0
	進学 (学部未定)	女子	3 1.9%	9 5.6%	38 23.6%	62 38.5%	49 30.4%	0 0.0%	161 100.0%	3.9
		男子	2 2.1%	3 3.2%	29 30.9%	44 46.8%	15 16.0%	1 1.1%	94 100.0%	3.7
		性別未記入	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%	4.0
		計	5 1.9%	13 5.0%	67 26.0%	106 41.1%	66 25.6%	1 0.4%	258 100.0%	3.8
	就職 その他	女子	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	10 100.0%	3.3
		男子	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	4.0
		性別未記入	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-
		計	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	12 100.0%	3.4
	未記入 等	女子	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	4.0
		男子	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	7 100.0%	3.7
		性別未記入	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%	-
		計	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	5 41.7%	1 8.3%	3 25.0%	12 100.0%	3.8
計	女子	14 2.1%	44 6.6%	162 24.3%	271 40.7%	175 26.3%	0 0.0%	666 100.0%	3.8	
	男子	19 3.7%	26 5.0%	137 26.4%	223 43.0%	111 21.4%	3 0.6%	519 100.0%	3.7	
	性別未記入	0 0.0%	3 13.0%	7 30.4%	5 21.7%	6 26.1%	2 8.7%	23 100.0%	3.7	
	計	33 2.7%	73 6.0%	306 25.3%	499 41.3%	292 24.2%	5 0.4%	1,208 100.0%	3.8	



## ポイント

- 進路選択の役に立つ内容であったと感じた者（「4」と「5」の合計）が最も多かったのは、理系女子（75.9%）で、これに、理系男子（72.6%）、未定女子（68.9%）、未定男子（62.8%）、文系女子（61.8%）、文系男子（53.6%）が続いた。
- なお、大いに進路選択の役に立つ内容であったと感じた者（「5」）が最も多かったのは、理系女子（32.4%）で、これに、未定女子（30.4%）、理系男子（27.0%）、文系女子（21.1%）、文系男子（16.7%）、未定男子（16.0%）が続いた。

## まとめ

### <この設問からみられる傾向等>

- 役に立つ内容であったと感じる割合は、女子男子ともに、理系志望、進路未定、文系志望の順に下がっていき、女子男子の間の差は、その順により大きくなっている。

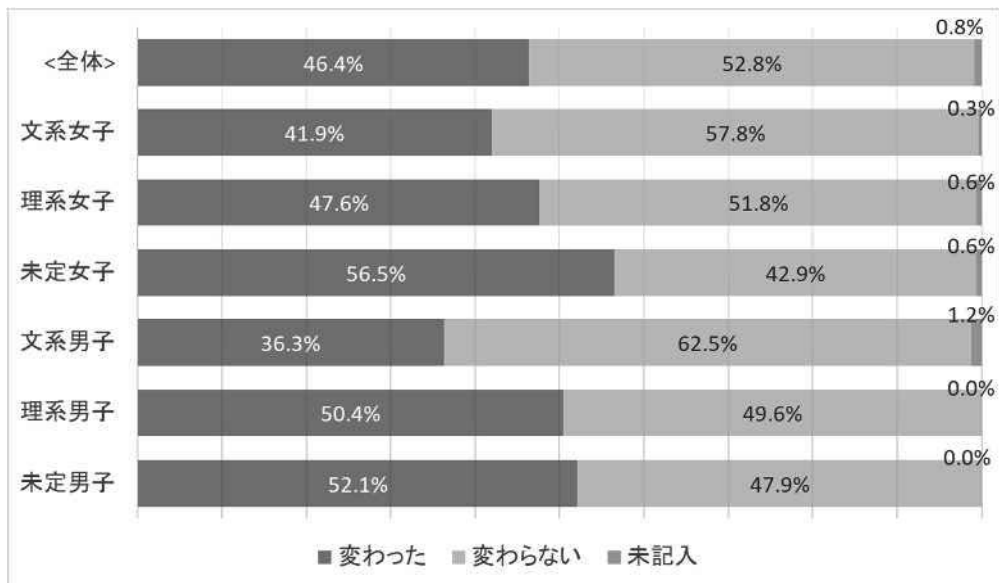
### <リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察>

- 理系女子の8割近く、未定女子の約7割、文系女子の約6割が、役に立つ内容であったと回答した。
- 既に何らかの理系分野に進もうと考えている理系女子のみならず、文理選択を検討中と考えられる未定女子にも影響を与えたことで、リケジョの促進に期待が持てる。

イ 講演前後での考えの変化と希望進路の関係

【設問3-1×設問4】

		講演の前と後で、理工系分野に対する考えは変わりましたか？				
		1	2	未記入	計	
		変わった	変わらない			
あなたの希望する進路を教えてください。	進学 (文系)	女子	135	186	1	322
			41.9%	57.8%	0.3%	100.0%
		男子	61	105	2	168
			36.3%	62.5%	1.2%	100.0%
		性別未記入	7	6	0	13
	53.8%		46.2%	0.0%	100.0%	
	計	203	297	3	503	
		40.4%	59.0%	0.6%	100.0%	
	進学 (理系)	女子	81	88	1	170
			47.6%	51.8%	0.6%	100.0%
		男子	125	123	0	248
			50.4%	49.6%	0.0%	100.0%
		性別未記入	2	3	0	5
	40.0%		60.0%	0.0%	100.0%	
	計	208	214	1	423	
		49.2%	50.6%	0.2%	100.0%	
	進学 (学部未定)	女子	91	69	1	161
			56.5%	42.9%	0.6%	100.0%
		男子	49	45	0	94
			52.1%	47.9%	0.0%	100.0%
		性別未記入	2	1	0	3
	66.7%		33.3%	0.0%	100.0%	
	計	142	115	1	258	
		55.0%	44.6%	0.4%	100.0%	
	就職 その他	女子	3	6	1	10
			30.0%	60.0%	10.0%	100.0%
		男子	0	2	0	2
			0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
性別未記入		0	0	0	0	
	-	-	-	-		
計	3	8	1	12		
	25.0%	66.7%	8.3%	100.0%		
未記入等	女子	1	1	1	3	
		33.3%	33.3%	33.3%	100.0%	
	男子	3	3	1	7	
		42.9%	42.9%	14.3%	100.0%	
	性別未記入	0	0	2	2	
0.0%		0.0%	100.0%	100.0%		
計	4	4	4	12		
	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%		
計	女子	311	350	5	666	
		46.7%	52.6%	0.8%	100.0%	
	男子	238	278	3	519	
		45.9%	53.6%	0.6%	100.0%	
	性別未記入	11	10	2	23	
47.8%		43.5%	8.7%	100.0%		
計	560	638	10	1,208		
	46.4%	52.8%	0.8%	100.0%		



## ポイント

### <性別・進学希望先別>

- 「変わった」が最も多かったのは、未定女子（56.5%）で、これに、未定男子（52.1%）、理系男子（50.4%）が続いた。
- 文系女子、文系男子では、「変わった」はそれぞれ 41.9%、36.3%にとどまり、「変わらない」が6割前後（57.8%、62.5%）であった。

## まとめ

### <この設問からみられる傾向等>

- 性別を問わず、文理選択について未定の生徒の方が、「理工系分野に対する考えが変わった」と感じた者が多い。

### <リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察>

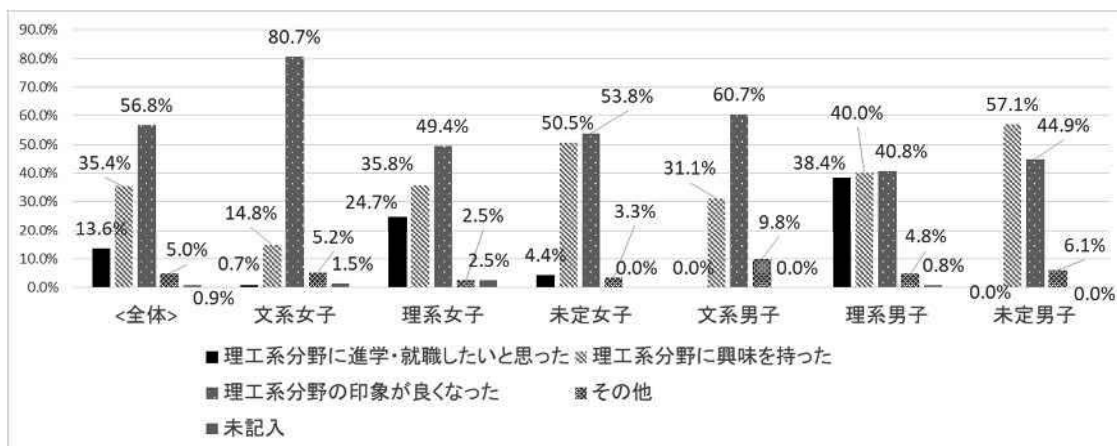
- 女子男子ともに、進路未定、文理選択中と考えられる生徒の約半数に影響を与えており、リケジョ促進への期待とともに、男子生徒への好影響も期待できる。

ウ 講演前後の考えの変化の内容と希望進路の関係

【設問3-2×設問4】

		「変わった」と答えた人は、何が変わったのか次から選んでください。 (複数回答可)						
		1	2	3	4	未記入	母数	
		理工系分野に 進学・就職した と思った	理工系分野に 興味を持った	理工系分野の 印象が良くなっ た	その他			
あなたの希望する進路を教えてください。	進学 (文系)	女子	1 0.7%	20 14.8%	109 80.7%	7 5.2%	2 1.5%	135 100.0%
		男子	0 0.0%	19 31.1%	37 60.7%	6 9.8%	0 0.0%	61 100.0%
		性別未記入	0 0.0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
		計	1 0.5%	41 20.2%	151 74.4%	13 6.4%	2 1.0%	203 100.0%
	進学 (理系)	女子	20 24.7%	29 35.8%	40 49.4%	2 2.5%	2 2.5%	81 100.0%
		男子	48 38.4%	50 40.0%	51 40.8%	6 4.8%	1 0.8%	125 100.0%
		性別未記入	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
		計	70 33.7%	79 38.0%	91 43.8%	8 3.8%	3 1.4%	208 100.0%
	進学 (学部 未定)	女子	4 4.4%	46 50.5%	49 53.8%	3 3.3%	0 0.0%	91 100.0%
		男子	0 0.0%	28 57.1%	22 44.9%	3 6.1%	0 0.0%	49 100.0%
		性別未記入	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
		計	4 2.8%	75 52.8%	72 50.7%	6 4.2%	0 0.0%	142 100.0%
	就職 その他	女子	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
		男子	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
		性別未記入	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
		計	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	未記入 等	女子	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
		男子	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
		性別未記入	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
		計	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	計	女子	25 8.0%	96 30.9%	201 64.6%	12 3.9%	4 1.3%	311 100.0%
		男子	49 20.6%	99 41.6%	111 46.6%	16 6.7%	1 0.4%	238 100.0%
		性別未記入	2 18.2%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
		計	76 13.6%	198 35.4%	318 56.8%	28 5.0%	5 0.9%	560 100.0%





## ポイント

※この設問は、複数回答である。

※百分率の母数は、設問3において「変わった」と回答した者の数。

- 文系女子、文系男子では、「理工系分野の印象が良くなった」を選択した者の割合が、8割（80.7%）、6割（60.7%）と、ほかの選択肢を大きく上回った。
- 次に、文系男子では、3割が「理工系分野に興味を持った」を選択したが、文系女子においては、2割に満たなかった（14.8%）。
- 理系女子では、約半数が「理工系分野の印象が良くなった」を選択したほか、35.8%が「理工系分野に興味を持った」、24.7%が「理工系分野に進学・就職したいと思った」を選択した。
- 理系男子では、「理工系分野の印象が良くなった」、「理工系分野に興味を持った」「理工系分野に進学・就職したいと思った」が約4割で並んだ（40.8%、40.0%、38.4%）。
- 未定女子、未定男子では、約半数が「理工系分野の印象が良くなった」（53.8%、44.9%）、「理工系分野に興味を持った」（50.5%、57.1%）を選択した。

## まとめ

### <この設問からみられる傾向等>

- 女子は「理工系分野の印象が良くなった」人の割合が高く、男子は「理工系分野に興味を持った」、「理工系分野に進学・就職したいと思った」人の割合も高い。

### <リケジョ・エンレッジプログラムの進化のための考察>

- 理系女子20名のほか、文系女子1名、未定女子4名（計25名）が、「理工系分野に進学・就職したいと思った」を選択しており、男子の計48名の約半数に達している。

- 理系女子 29 名のほか、文系女子 20 名、未定女子 46 名（計 95 名）が、「理工系分野に興味を持った」を選択しており、男子の計 97 名とほぼ同数である。
- 理系女子 40 名のほか、文系女子 109 名、未定女子 49 名（計 198 名）が、「理工系分野の印象が良くなった」を選択しており、男子の計 110 名の約 2 倍となっている。
- アンケートの全回答者数は、女子 666 名、男子 519 名で、女子が 147 名多い（男子の 1.28 倍）ことを加味しても、特に女子生徒に対して、理工系に興味を持ってもらうよい機会となっていることが伺える。
- 未定男子では、未定女子と比べて、「興味を持った」と「印象が良くなった」の差が大きい（「良くなった」と回答した人が少ない）ことから、今後のプログラム実施上の留意点となる可能性がある。